

平成 22 年度 予算要求事業調書

1 予算要求事業の概要

事業名(予算の事務事業名)		区分		
9	心のサポート推進事業(教育相談推進事業・生徒指導総合計画事業)	新規	拡大	
会計区分	款	項	目	
一般会計	10	01	03	
所管 教育委員会 学校教育部 指導2課				
事務事業の位置付け				
しあわせ倍増プラン2009	番号	27	事業名 心のサポート推進事業	
総合振興計画新実施計画	事業コード	3109 3107	事業名 教育相談・相談室運営事業/小・中一貫 潤いの時間「人間関係プログラム」	
根拠法令等	地方教育行政法23条			
予算要求事業の概要				
内容	<p>1 教育相談室・適応指導教室を充実します。</p> <p>2 各区担当の臨床心理士を配置し、専門性を活かした教育相談活動を展開します。</p> <p>3 児童生徒のアセスメントを行い、児童生徒の現状を的確に把握します。</p> <p>4 生命尊重教育を実施します。</p> <p>5 教職員に子どものストレス、抑うつ感、自殺等、児童生徒の心の悩みに係る専門的な内容に関する研修を実施します。</p> <p>6 児童生徒の危機的な事件が発生した際に、緊急時のサポート体制を整備します。</p>			
目的・目標	<p>&lt;目的&gt; 児童生徒の状態を適切に把握するとともに、教育相談体制を充実し、子どもたちの不適応に適切に対応するとともに、共感的な人間関係を構築します。</p> <p>&lt;目標(平成24年度末)&gt; 1 平成22年度末までに、不登校の状態から登校できる状態となった子どもの割合を50%に高めます。</p> <p>2 平成21年度中に、いじめ対策プロジェクトチームを設置し、教職員研修の充実やいじめ問題の解消を目指した取組を推進します。</p>			
現状と課題	<p>&lt;現状(平成21年度末見込み)&gt; 1 「心のサポートに係る調査研究委員会」の開催 2 「心のサポートに係る推進事業検討委員会」の開催 3 調査研究協力校予備調査実施 4 不登校対策事業(教育相談室・適応指導教室)の充実</p> <p>&lt;課題&gt; 1 見沼区にある堀崎教育相談室は、見沼区・岩槻区を管轄していますが、広範囲かつ学校現場から相談の要望が多く寄せられるため、岩槻区内への教育相談室設置は、急務となっています。</p> <p>2 小学校の児童が専門的な心理的相談を必要としたときに、校内で臨床心理士による心のケアが必要です。</p>			
今後のスケジュール	平成22年度	不登校対策事業 児童生徒のアセスメント事業 生命尊重教育事業 教職員研修事業 緊急時のサポート体制事業	平成24年度	不登校対策事業 児童生徒のアセスメント事業 生命尊重教育事業 教職員研修事業 緊急時のサポート体制事業
	平成23年度	不登校対策事業 児童生徒のアセスメント事業 生命尊重教育事業 教職員研修事業 緊急時のサポート体制事業		

2 予算要求の内容と査定結果

(単位：千円)

区分	金額	備考	
平成21年度	当初予算	331,306	<積算内訳> 1 教育相談に関する経費 298,195 2 24時間いじめ相談窓口運営経費 23,111 3 人間関係プログラム事業経費 10,000
	財源内訳	国庫支出金 35,789 諸収入 1,161 一般財源 294,356	
平成22年度	当初予算要求	528,624	<積算内訳> 1 教育相談に関する経費 372,164 2 24時間いじめ相談窓口運営経費 23,111 3 人間関係プログラム事業経費 13,498 4 心のサポート相談員(臨床心理士)経費【新規】 23,448 5 新設岩槻教育相談室の設置【新規】 94,553 6 いじめプロジェクトチーム経費【新規】 1,850
	財源内訳	国庫支出金 35,589 県支出金 8,168 諸収入 984 一般財源 483,883	<要求理由> いじめ問題や不登校等を解消するため、子どもの適切な状態把握を行い、教育相談体制の充実を図ります。 そのために、さわやか相談員の増員、心のサポート相談員の配置、さわやか相談室の空調機器導入、新設岩槻教育相談室の設置、いじめプロジェクトチームの新規予算を要求するものです。
	財政局長査定	354,569	<査定内容> 1 教育相談に関する経費 321,206 2 24時間いじめ相談窓口運営経費 23,111 3 人間関係プログラム事業経費 9,852 4 心のサポート相談員(臨床心理士)経費【新規】 0 5 新設岩槻教育相談室の設置【新規】 0 6 いじめプロジェクトチーム経費【新規】 400
	財源内訳	国庫支出金 35,589 諸収入 891 一般財源 318,089	<査定理由> さわやか相談員の増員、及び心のサポート相談員の人員要求について、学校に密着した相談を行うさわやか相談員の増員を予算化しました。 岩槻教育相談室の新設について、整備費等を更に検討する必要があることから、予算化を見送りました。
	市長査定	354,569	<査定内容> 同上
	財源内訳	国庫支出金 35,589 諸収入 891 一般財源 318,089	<査定理由> 財政局長査定の内容及び理由について、適正と認められるため、財政局原案のとおりとしました。